科目名 疾病論 V	配当時期	1年次 後期	講義担当者
時間割表記名	単位数	1 単位	福元哲也 幸崎弥之助
疾病論 V (運動器·脳神経·救急処置)	時間数	30 時間(16 回)	中川隆志 櫻井聖大

事前学習内容

解剖生理学・病理学・生化学などの既習学習を踏まえて授業に参加する。

授業目標

1. 疾病の成り立ちと回復の促進について理解し、病因と病変の特徴及び系統別疾患の病態・検査・診断・ 治療について理解できる。

DPとの関連

DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる

	学習内容と成果	方法	備考
1	<u> </u>	講義	テキスト(1)
	(1)骨折 (2)骨粗鬆症 (3)脱臼	1.7.1.2	
	2)主な検査		
	(1)画像検査 (2)骨密度測定		
	3)主な治療		
	(1)保存的治療(ギプス・シーネ固定、牽引、透視下整復等	等)	
	(2)手術療法(骨折観血的手術、観血的整復固定術等)		
	(3)薬物治療 (4)理学療法・作業療法		
2	運動器 1)主な疾患	講義	テキスト①
	(1)腰部脊柱管狭窄症 (2)椎間板ヘルニア		
	(3)脊髄損傷		
	2)主な検査		
	(1)画像検査 (2)ミエログラフィー		
	3)主な治療		
	(1)保存的治療(装具)		
	(2)手術療法(椎弓切除術、髄核摘出術、脊椎固定術等)		
3	運動器 1)主な疾患	講義	テキスト①
	(1)筋・腱・靭帯などの損傷 (2)骨髄炎 (3)関節炎		
	(4)膝内障(半月板損傷等)(5)骨腫瘍		
	2)主な検査		
	(1)画像検査(2)骨生検		
	3)主な治療		
	(1)薬物治療(2)保存的治療(3)化学療法(4)放射線治	療	
	(2)手術療法(腱縫合、関節鏡下手術、デブリードメント、		
	骨腫瘍摘出術、自家骨移植術等)		

4	運動哭	1)主な疾患	講義	テキスト①
-	进到的	(1)関節リウマチ(2)変形性膝関節症(3)変形性股関節症	(ATT 开发	7-120
		2)主な検査		
		(1)画像検査		
		3)主な治療		
		(1)保存的治療		
		(2)手術療法(骨切り術、人工関節置換術)		
		(2)于柳原法(1999柳、人工舆即直接例)		
5	運動器	1)主な疾患	講義	テキスト①
		(1)末梢神経障害 (2)壊死性病変		
		2)主な検査		
		(1)画像検査		
		3)主な治療		
		(1)保存的治療 (2)手術療法(神経移行術、切断術等)		
		(3)装具・義肢装着		
6	脳神経	1)主な疾患	講義	テキスト②
		(1)脳梗塞 (2)もやもや病		
		2)主な検査		
		(1)神経学的診察 (2)画像検査 (3)脳血管造影		
		3)主な治療		
		(1)薬物治療(抗凝固薬、rt-PA 療法)		
7	脳神経	1)主な疾患	講義	テキスト②
		(1)脳炎 (2)髄膜炎 (3)てんかん (4)水頭症		
		2)主な検査		
		(1)画像検査 (2)脳波		
		3)主な治療		
		(1)薬物治療		
8	脳神経	1)主な疾患	講義	テキスト②
9		(1)パーキンソン病 (2)多発性硬化症		
		(3)筋萎縮性側索硬化症(4)重症筋無力症		
		2)主な検査		
		(1)画像検査 (2)筋電図 (3)神経電動検査等		
		3)主な治療		
		(1)薬物治療 (2)非侵襲的陽圧呼吸(NIPPV)		
		(3)侵襲的陽圧呼吸(IPPV)		
10	脳神経	1)主な疾患	講義	テキスト②
		(1)ギラン-バレー症候群 (2)顔面神経麻痺(3)神経痛		
		2)主な検査		
L			I .	l

	(1)画像検査		
	3)主な治療		
	(1)薬物治療		
11	脳神経 1)主な疾患	講義	テキスト25
12	(1)クモ膜下出血 (2)脳内出血 (3)水頭症		
	2)主な検査		
	(1)画像検査 (2)脳血管造影		
	3)主な治療		
	(1)手術療法(脳動脈瘤クリッピング、コイル塞栓術、開頭		
	血種除去術、シャント術、脳室ドレナージ等)		
13	脳神経 1)主な疾患	講義	テキスト②⑤
	(1)脳腫瘍(神経膠腫、髄膜腫、下垂体線腫等)		
	(2)頭部外傷		
	2)主な検査		
	(1)画像検査		
	3)主な治療		
	(1)手術療法(開頭腫瘍摘出術 経蝶形骨洞手術、穿頭血		
	腫除去術、開頭減圧術等)		
	(2)薬物治療 (3)化学療法 (4)放射線治療		
	(5)低体温療法		
14	1. 救急処置が必要な主な病態	講義	テキスト34
15	1)心肺停止 2)意識障害 3)多発外傷 4)熱中症·脱水		
	5)熱傷 6)薬物中毒		
	2. 主な治療		
	1)心肺蘇生・全身管理 2)薬物治療 3)胃洗浄 4)創傷処置		
16	筆記試験(60分)	試験(筆記)	
受講上の注意		評価方法	
事前学習・事後学習をきちんと行う		筆記試験	
1			

使用するテキスト

- ①系統学看護講座 専門分野 成人看護学[10] 運動器 医学書院
- ②系統学看護講座 専門分野 成人看護学[7] 脳・神経 医学書院
- ③看護学講座 別巻 救急看護学 医学書院
- ④看護学講座 別巻 クリティカルケア看護学 医学書院
- ⑤系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論 医学書院

参考文献